

## 平成 29 年度 児童養護施設静岡ホーム事業報告

「キリストの愛」と児童憲章や児童の権利に関する条約、児童福祉法、倫理綱領等に則り、すべての職員が一体となって「子どもの最善の利益」に適うよう、児童の権利を擁護し、自立に向けた支援計画を策定して、子どもたち一人ひとりが個性豊かでたくましく思いやりのある人間として育ち、自立した社会人として生きていくことができるよう多様な社会経験を積める機会を提供し、養育・支援を行った。

### 1 養育・支援

#### (1) 入退所児童の状況

何らかの事情により家庭での養育が困難又は受けられなくなった子どもの養育は、平成 24 年 3 月改正の児童相談所運営指針及び里親委託ガイドラインにおいて里親委託優先の原則がとられてきた。

また、平成 28 年改正の児童福祉法において「家庭（実父母や親族等を養育者とする環境）」に近い環境での養育を推進するため、「家庭における養育環境と同様の養育環境（養子縁組による家庭、里親家庭、ファミリーホーム）」において、継続的に養育されることが原則である旨が法律に明記され、養子縁組や里親・ファミリーホームへの委託を原則とすることとされたため、入所児童及び在籍児童は 5 年前に比べ大きく減少しており、29 年度は、入所児童 11 人、退所児童 15 人、月平均在籍児童 66.9 人、定員に対する充足率は 82.6%であった。

入退所児童の状況

(単位：人)

区分	入所児童			退所児童						
	家庭	乳児院	計	家庭引き取り	就職	大学等進学	児童心理治療施設	児童自立支援施設	あしたか職業訓練校	計
人数	10	1	11	8	3	1	1	1	1	15

在籍児童数の推移

(単位：各月初日、人、%)

年度		24	25	26	27	28	29
在籍	延人数	905	894	885	790	792	803
児童数	月平均	75.4	74.5	73.8	65.8	66.0	66.9

#### (2) 一時保護児童の受入れ

虐待、放任等の理由により子どもを保護家庭から一時引き離す必要がある場合など、緊急保護された児童 7 人・延 82 日を受け入れ養育した。

#### (3) 食生活の向上

食を養育支援の中心と捉え、毎月、栄養士と各グループ代表者で構成する給食会議を開催して食生活・食育について協議した。献立は、子どもへの嗜好調査及び行事食メニューのアンケート調査を実施し、季節の料理や伝統行事等の料理も考慮して組み立てると

ともに、食物アレルギーや病気の子どもの健康状態に配慮した食事を提供してきた。

#### (4) 衣習慣の習得

適切な衣習慣の習得のため、衣類は、子どもとタンスの中を整理し、購入計画を立て、可能な限り一緒に買い物に行き、子どもの個性に合ったもの・好みに合ったものを購入するようにした。

#### (5) 住環境の整美

住環境を整美するため、年間を通して、花が絶えることがないように花の植え替えを行うとともに、園内の除草、日々の清掃に加え年2回大掃除を実施した。

#### (6) 性に関する教育

自立と共生の力を育むため、性についての正しい知識、関心が持てるよう、性教育委員会「かえでの会」が中心となって、子どもにプライベートゾーン・エリア」「回避行動（ノー・ゴー・テル）」を基本とした年齢に応じた学習会を行った。

対象児童	テーマ	目的・内容
幼 児	いいタッチ・わるいタッチについて プライベートゾーン・プライベートエリアの学習	自分の体・相手の体について正しく知る 境界線の学習
小学1 ～3年生  新入所 小学生	いいタッチ・わるいタッチについて プライベートゾーン・プライベートエリアの学習 プライベートゾーンの確認 回避行動（ノー・ゴー・テル） 二次性徴について	自分の体・相手の体について正しく知る 境界線の学習 思春期に向けての変化を知る プライベートエリアの確認
小学4 ～6年生	プライベートゾーンの確認 回避行動（ノー・ゴー・テル） 二次性徴について	自分の体・相手の体について正しく知る 境界線の学習 思春期に向けての変化を知る
中学生	二次性徴・体の変化・パーソナルスペースの学習	自分の体・相手の体思春期の心の変化 プライベートエリアの確認
高校生	自立に向けての性教育学習 異性との向き合い方 性感染症について	社会に出るため、自立への準備

#### (7) 子どもの主体性を育む余暇活動

社会への適応性を高め、豊かな人間性を育てるため、子どもたちの意向を踏まえた園行事を企画し、クリスマス祝会や餅つき、レストランでの食事会などのほか、夏はプールやキャンプ、冬は雪遊び、スキー、スノーボードなどを体験した。また、各種団体の招待・訪園行事を受け入れ、Jリーグエスパルスホームゲームでの全試合の観戦、コンサートや

演劇を鑑賞するなど、スポーツや文化・芸術などに触れる機会をもち、子どもたちが楽しみながら感性を磨き情操を育むよう努めた。

また、情緒を安定させ自立を支援するため、ピアノ教室と手芸教室を開講し、発表会を開催するなど、表現活動の場を設けた。

更に、子ども自身が尊重されていると感ずることができるよう、誕生日に職員と1対1で外食する機会も設けた。

区分	園企画行事	招待・訪園行事	県養協行事
件数	44	37	4

### (8) 学習・進学支援

学習能力の向上を図るため、小学生を対象に取り組んでいる公文学習を週2回から週5回に変更し、学習への定着度を高めている。

また、学習ボランティアを積極的に活用するとともに、中学生の通塾に加えて高校生についても通塾を始めたことで大学等への進学意欲が高まっており、29年度は1人が看護学校に進学した。

### (9) 心理的ケアの充実

愛着形成や自己肯定感の向上を図るため、グループ心理療法、児童相談所嘱託医による心理的・医学的知見を現場へと伝えるスーパービジョンを開催した。また、個別のケアが必要な児童については、静岡市児童相談所で行われるプレイセラピーや園内での個別面接で対応し、それ以外の児童についても、生活場面の要所で心理的知見に基づいたアドバイスにより日常的にケアを行った。

区分	スーパービジョン	グループ心理療法	プレイセラピー
回数	11	8	36

### (10) 自立支援の充実

小学生を対象とした「お仕事体験」や「おしごとフェスタ」を企画、開催するとともに、高校生を対象に自立支援講座を実施した。また、退所児童に対して、電話やメール、家庭訪問により近況を確認し、生活や就労、育児、引っ越しの支援等につなげたことにより、自立を支えた。

## 2 家族への支援

児童の家庭復帰や親子関係の回復・再構築に向けて、親との面会や外出、月2回の外泊（一時帰宅）、夏季・冬季の外泊（一週間程度）などを行った。また、家庭支援専門相談員等による保護者に対する相談指導を行った。

## 3 自立支援計画

アセスメントシートの書式を整備し、心理担当職員によるアセスメントの実施と年2回の児童相談所との連絡会を開催し、学校、保護者、児童の意見を反映した自立支援計画を

作成した。

## 4 権利擁護

### (1) 人権擁護と人権侵害の防止

子どもたちの人権を守り、子どもたちが安心して生活が営めるよう、県児童養護施設協議会主催の権利擁護研修会への職員の参加、「懲戒に係る権限の濫用禁止（平成 10 年 2 月 18 日）」及び児童福祉法第 33 条の 10 に係る「被措置児童等虐待対応ガイドライン」の周知と「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト」による自己点検、投書箱「こどもの声」の設置などにより人権擁護と人権侵害の防止に努めた。

### (2) 被措置児童虐待対応

子どもたちに対する虐待や虐待を疑わせる行為或いは虐待と受け止められる行為の防止について徹底を図っているが、こどもの声に職員から虐待を受けたとの投書があった 2 件について静岡市児童相談所に通告した。

静岡市の子ども家庭課及び児童相談所による調査の結果、児童の虚偽によるものと、虐待に相当するものではないとされたもので、虐待の事実が確認された事例はなかった。

## 5 事故防止と安全対策

災害時における児童の安全を確保し被害の軽減を図るため、消防設備機器等の取扱いに関する教育を行うとともに、火災・地震を想定した定期的な通報・消火・避難訓練を実施した。

また、相模原の障害者施設殺傷事件を受け、静岡中央警察署の協力を得て、不審者対応に関わるポイントや防犯器具（刺股・盾）の使い方、侵入者への対応の方法や牽制方法などを学ぶ講習会を実施した。

更に、事故や災害等を未然に防止するため、建築基準法等に基づいた建築設備定期検査、消防設備点検、電気設備点検、貯水槽点検・清掃を実施した。

年間を通じて入所児童の重大な受傷、疾病に至る事故等の発生はなかった。

## 6 地域交流と地域支援

### (1) 地域との交流

地域に開かれた施設としてグラウンドや楓ホールを開放するとともに、町内会との防災訓練の共同開催や子ども会行事への参加、高齢者等との世代間交流を行った。

また、子どもたちの学習やイベントなどを支援するボランティアを積極的に受け入れた。

### (2) 地域支援

保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合のショートステイの受け入れや要保護児童対策地域協議会への参加、里親支援などに取り組んだ。

また、近隣の大学からの要請を受け講師として職員を派遣した。

## 7 職員の専門性の向上

被虐待児の入所が半数を超え、処遇困難なケースや発達障害の表れを有する児童が増加しており、養育を担う職員のより高い専門性が要求されている。

また、今後整備される本体施設の小規模ユニットや地域小規模児童養護施設等のグループホームにおいては、職員一人ひとりの力量が問われ、知識・技術・経験に裏打ちされた養育が必要とされるので、職員のスキルアップを図り、専門性を高めるため、研修計画に基づき、小規模ケア先進施設への職員の派遣などの外部研修に参加させるとともに、CARE プログラムワークショップやCOMMONSENSE・ペアレンティング習得などの職場内研修を実施した。

区分	職場内研修	職場外研修		
		県社協等	県養協	県外施設
件数	16	45	18	2

## 8 施設の運営

### (1) 会議・委員会等の開催

子ども一人ひとりの養育の向上と円滑な施設運営を図るため、施設内における各種会議や委員会の開催とともに、関係機関との連絡会を開催した。

#### ○施設内の各種会議

名称	開催回数	内容
運営会議	11	施設運営の基本方針、重要事項、課題等の協議調整
職員会議	12	施設運営に関わる事項（運営・指導方針、行事予定、提案事項等）の協議調整、周知
サービス向上推進会議	7	第三者評価の受審業務と改善事項の調整
グループ会議	毎月各1	児童の生活支援等に関わる事項（運営計画・自立支援計画・児童処遇・行事等）の協議調整
給食会議	12	献立や食品衛生等に関する協議調整
ケース会議	随時	ケースの処遇方針等の協議調整
朝会	毎日（日-祝除く）	日々の連絡調整
性教育委員会	11	性教育の実践
企画調整委員会	8	夏冬特別行事や祝会等園内行事の企画調整
広報推進委員会	4	HP更新、広報誌発行、施設紹介・事業実績ビデオ作製
生活環境委員会	3	生活環境の美化、6S（整理・整頓・清掃・清潔・作法・躰）活動の推進
防災対策委員会（防災会議）	12	消防計画の委員会審議事項の協議調整、防災訓練の実施
苦情解決委員会	1	苦情への対応
養保連絡会	6	養護施設との保育所の連携業務の調整

○関係機関との連携

児童相談所、幼稚園、小中高等学校

(2) 人事・労務・健康管理

ア 職員の確保

措置費加算対象の基幹的職員、心理療法担当職員、里親支援専門職員、学習指導員及び特別指導員を配置するとともに、静岡市単独補助の心理療法担当職員及び自立支援員を配置し、人員体制の充実に努めた。

また、保育所の定員増や認定こども園の創設等による保育士需要の高まりに加え、企業の好業績を背景とした求人増などより、職員の確保が難しくなっているため、大学等への求人に加え、宿泊を伴う実習生の受入れと適切な実習指導、インターンシップの受入れ、求人サイトの活用などにより就職希望者の確保に努めた。

イ 職員の健康の維持

職員の心身の健康に留意し、定期的な健康診断、インフルエンザの予防接種を行うとともに、リフレッシュ休暇（年2回の4連休）の取得促進などにより職員の健康の維持・増進に努めた。

(3) 施設・設備の保全

安全で快適な生活環境と施設機能の維持・耐久性の確保を図るため、老朽化した施設・設備の補修、故障・破損した備品の買い替え等を行った。

○施設・設備（基本財産、固定資産に当たるもの及び30万円以上の修繕等）

地域交流ホーム外装改修 空調冷媒管結露防止 園内舗裝修繕  
東西面外装改修 駐車場舗装（保育学園前） 門柱等設置

○器具及び備品（10万円以上のもの）

業務管理システム用サーバー機 園内ネットワーク拡張及び小鹿寮 VPN 接続  
衣類乾燥機 暖房用温水ボイラー エアコン、消防用設備（小鹿寮）

(4) 施設運営の質の向上

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び厚生労働省局長通知に基づいた3年に1回以上の第三者評価を受審するとともに、児童養護施設運営指針に掲げられている目指すべき状態に近づけられるよう問題点の改善に努めた。

(5) 業務管理システムの導入

職員間で情報の共有とスムーズな連携を図るため、園務日誌やグループ日誌、ケース記録、各種データなどをパソコンで一括管理する業務管理システム「抱き～いただき～」を導入した。

(6) 省エネルギーの推進

省エネルギー推進のため、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し

た CO2 削減ポテンシャル診断事業を実施し、浴室及び炊事場に節水型シャワーヘッドを設置した。

#### (7) 福祉専門職養成校実習生の受入れ

県内外の大学、短期大学、専門学校の福祉専門職養成校に在籍する学生の施設実習を受け入れ、福祉分野への就労を志す者の養成に寄与した。

また、児童福祉施設業務を体験し、知識を深めたいとする学生についても、児童のプライバシーの保護と安全に十分配慮しながら、事情の許す範囲でインターンとして受け入れた。

(単位：校、人日)

区分	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅲ	ソーシャルワーク実習	計
実習校	14	1	4	19
実習生	32	1	4	37
実習日数	206	12	61	279

#### 9 広報活動の推進

ホームページを随時更新し、最新の情報を提供した。

また、広報誌「メープルスマイル」創刊号の発行及び施設紹介ビデオを作成した。

#### 10 里親支援

里親家庭への訪問及び電話・メール相談、児童相談所との連携、里親の認定前・更新実習の受け入れや「未受託里親養育体験事業」を実施した。また、里親制度説明などの一般相談や「施設と里親との協同」と題して大学での講演などの里親普及啓発を行った。

#### 11 施設の小規模化と地域分散化の推進

家庭的養護推進計画に基づく施設の小規模化と施設機能の地域分散化を図るため、住宅メーカー及び不動産業者に賃貸物件の情報提供と確保を要請するとともに、公益財団法人 JKA に地域小規模児童養護施設の建築に係る補助金の交付を要望した。

《附属明細書》

1 入退所状況

(1) 入退所状況

(単位：人)

区分	28 年度末	入 所						退 所						29 年度末
		家庭	乳児院	児童養護 施設	児童心理治療 施設	児童自立 支援施設	計	家庭	他施設	就職 自立	里親 委託	進学	計	
男	28	8	0	0	0	0	8	3	2	0	0	0	5	31
女	37	2	1	0	0	0	3	5	1	3	0	1	10	30
計	65	10	1	0	0	0	11	8	3	3	0	1	15	61

(2) 月別在籍児童数

(単位：人、%)

区分	定員	初日在籍児童数									充足率
		施設別		学齢別					計		
		本園	小鹿寮	幼児	小学生	中学生	高校生	その他			
29/ 4	81	60	5	13	28	10	12	2	65	80.2	
5	81	59	5	13	28	10	12	1	64	79.0	
6	81	60	5	15	27	10	12	1	65	80.2	
7	81	60	5	15	27	10	12	1	65	80.2	
8	81	60	5	15	27	10	12	1	65	80.2	
9	81	59	5	17	25	10	12	0	64	79.0	
10	81	62	5	17	28	10	12	0	67	82.7	
11	81	63	5	17	29	10	12	0	68	84.0	
12	81	65	5	17	30	11	12	0	70	86.4	
30/ 1	81	65	5	16	31	11	12	0	70	86.4	
2	81	65	5	16	31	11	12	0	70	86.4	
3	81	65	5	16	31	11	12	0	70	86.4	
計	972	743	60	187	342	124	144	6	803	82.6	

(3) 一時保護児童数

(単位：人)

区分	29/4	5	6	7	8	9	10	11	12	30/1	2	3	計
児童数	0	1	0	0	0	2	0	2	1	0	0	1	7
延人数	0	9	0	0	0	39	0	8	4	0	0	22	82

\*実人員は7人



(4) ショートステイ受入児童数 (単位：人)

区分	29/4	5	6	7	8	9	10	11	12	30/1	2	3	計
児童数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
延人数	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	8

\*実人員は2人

(5) レスパイトケア受入児童数 (単位：人)

区分	28/4	5	6	7	8	9	10	11	12	29/1	2	3	計
児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*実人員は0人

2 入所児童の状況

(1) 年齢・男女別児童数 (平成30年3月1日在籍児童：人)

区分	年 齢																		総数	平均年齢
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
男	0	0	1	4	3	1	3	2	1	4	3	0	1	2	2	3	2	0	32	10.4
女	0	0	3	0	4	1	2	2	2	5	2	4	3	1	2	1	2	4	38	11.2
計	0	0	4	4	7	2	5	4	3	9	5	4	4	3	4	4	4	4	70	10.9

(2) 措置時の年齢 (平成30年3月1日在籍児童：人)

区分	年 齢																		総数	平均年齢
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
男	0	7	3	3	3	1	3	3	1	1	2	0	1	2	2	0	0	0	32	7.1
女	0	13	4	4	3	2	3	2	3	1	0	1	0	1	1	0	0	0	38	5.7
計	0	20	7	7	6	3	6	5	4	2	2	1	1	3	3	0	0	0	70	6.3

(3) 在籍児童の在所期間 (平成30年3月1日在籍児童：人)

区 分	児童数	区 分	児童数	区 分	児童数
1年未満	11	7年以上 8年未満	4	14年以上 15年未満	1
1年以上 2年未満	14	8年以上 9年未満	2	15年以上 16年未満	0
2年以上 3年未満	8	9年以上 10年未満	5	16年以上 17年未満	0
3年以上 4年未満	9	10年以上 11年未満	3	17年以上 18年未満	0
4年以上 5年未満	4	11年以上 12年未満	1	18年以上	0
5年以上 6年未満	2	12年以上 13年未満	2	計	70
6年以上 7年未満	2	13年以上 14年未満	1	平均在所期間	4年6ヶ月

## (4) 出身地別児童数

(平成30年3月1日在籍児童：人)

措置機関	静岡県								浜松市	計
	静岡市	沼津市	島田市	富士市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町		
人数	43	1	6	3	6	4	5	1	1	70
	43	26						1		

## (5) 措置理由別児童数

(平成30年3月1日在籍児童：人、%)

入所理由（主訴）	人数	割合	入所理由（主訴）	人数	割合
父母の死亡	0	0.0	父母の放任怠惰	13	18.6
父母の行方不明	0	0.0	父母の虐待	27	38.6
父母の離婚	0	0.0	父母の養育拒否	5	7.1
父母の不和	1	1.4	棄児	0	0.0
父母の拘禁	1	1.4	破産等経済的理由	3	4.3
父母の入院	3	4.3	児童の監護困難	3	4.3
父母の就労	3	4.3	その他	0	0.0
父母の精神障害	11	15.7	計	70	100.0

## (6) 被虐待児童数 (平成30年3月1日在籍児童：人、%)

虐待の種類	人数	割合
身体的虐待	22	40.0
性的虐待	1	1.8
ネグレクト	25	45.5
心理的虐待	7	12.7
実人員	55	100.0

## (7) 入所経路

(平成30年3月1日在籍児童：人)

家庭	乳児院	児童養護施設	情緒障害児治療施設	児童自立支援施設	里親	その他	計
51	13	1	3	0	2	0	70

## (8) 保護者の状況

(平成30年3月1日在籍児童：人)

実父母あり	実父のみ	実母のみ	実父と養(継)母	養(継)父と実母	祖父母	伯(叔)父母	その他	不明	計
21	5	34	1	8	1	0	0	0	70

**(9) 児童の心身の状況**

(平成 30 年 3 月 1 日在籍児童：人)

健全	46	外傷後ストレス障害 (PTSD)	1
身体虚弱	1	反応性愛着障害	5
肢体不自由	1	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	4
視聴覚障害	0	学習障害 (LD)	2
言語障害	1	広汎性発達障害 (ASD)	5
知的障害 (IQ69 以下)	8	適応障害	0
てんかん	0	その他	3

\* 医師の診断によるもの 重複あり

**(10) 児童の罹患傾向**

(平成 30 年 3 月 1 日在籍児童：人)

ほとんど病氣しない	31	ぜんそく	0
ひきつけをすることがある	2	食物アレルギー	0
下痢をしやすい	3	その他のアレルギー	0
よく熱を出す	6	花粉症	0
風邪をひきやすい	0	その他	0
湿疹が出やすい	7		

\* 重複あり

**(11) 児童の非社会的問題傾向**

(平成 30 年 3 月 1 日在籍児童：人)

問題なし	不登校	孤立・内閉	夜尿・失禁	神経症習癖症状	学業不振	その他
32	4	2	19	16	17	0

\* 重複あり

**(12) 児童の反社会的問題傾向 (入所前)**

(平成 30 年 3 月 1 日在籍児童：人)

問題なし	窃盗	弄火 放火	無断外出 外泊	乱暴 暴行	金品 持ち出し	飲酒	喫煙	性的問題	その他
46	6	0	2	17	0	0	2	3	1

\* 重複あり

## (13) 退所児童の在所期間

(平成 29 年度退所児童：人)

区 分	児童数	区 分	児童数	区 分	児童数
1 年未満	2	7 年以上 8 年未満	0	14 年以上 15 年未満	0
1 年以上 2 年未満	1	8 年以上 9 年未満	2	15 年以上 16 年未満	0
2 年以上 3 年未満	3	9 年以上 10 年未満	1	16 年以上 17 年未満	0
3 年以上 4 年未満	3	10 年以上 11 年未満	0	17 年以上 18 年未満	0
4 年以上 5 年未満	2	11 年以上 12 年未満	0	18 年以上	0
5 年以上 6 年未満	0	12 年以上 13 年未満	1	計	15
6 年以上 7 年未満	0	13 年以上 14 年未満	0	平均在所期間	4 年 6 か月

## (14) 中高生の進路

(平成 30 年 3 月末：人)

区分	進学	就職自立	他施設（措置変更）	計
中学生	県立高等学校 2 私立高等学校 2	—	—	4
高校生	専門学校 1	製造業 1 飲食・冠婚葬祭業 1 美容業 1	—	4

## 3 行事の実施状況

## (1) 園企画行事

(単位：人)

月日	行事名	グループ名	参加児童数
4/5	創立記念礼拝「創立 110 周年」	全グループ	65
4/21	昼間保育遠足「安倍ごころ」	未就園児	6
5/3	餅つき	全グループ	30
5/3~7	ゴールデンウィーク在園児外出映画鑑賞 「シネシティザード」「静岡東宝会館」	幼児～高校 3 年生	31
5/4	幼児外出「グランシップこどものくに～ふしぎな かたち～」	幼児グループ	9
5/4	ゴールデンウィーク在園児外出「伊豆ぐらんぱる公 園」	男子・女子グループ 小鹿寮	7
5/5	ゴールデンウィーク在園児外出「たまりーな」	小学生	7
5/6	ゴールデンウィーク在園児外出「島田中央公園」	幼児グループ	10
5/19	昼間保育遠足「広野海岸公園」	未就園児	6
5/20	幼児外出「グランシップトレインフェスタ 2017」	幼児グループ	13
7/25	夏の特別行事「富士山こどもの国」	幼稚園児	7
7/27	夏の特別行事「富士登山」	中学生・高校生	5
8/1	軍神社祭り	小鹿寮	4

月日	行事名	グループ名	参加児童数
8/1~2	夏の特別行事「オートキャンプ銀河（西伊豆）」	小学生高学年	17
8/9	夏の特別行事「富士市マリンプール」	小学生低学年	10
8/12	井宮町七夕夏まつり	幼児～高校3年生	56
8/14~20	夏の在園児外出映画鑑賞 「シネシティザード」「静岡東宝会館」	幼児～高校3年生	29
8/16	夏の在園児外出「まかいの牧場」	小学生グループ・小鹿寮	5
8/17	夏の在園児外出「ラグーナテンポス」	男子・女子グループ 小鹿寮	12
8/18	夏の在園児外出「富士マリンプール」	幼児グループ	10
8/24	夏の特別行事「つま恋ウォーターパーク」	中学生・高校生	9
9/ 9	幼稚園児外出「日本平動物園」	幼稚園児	6
9/15	昼間保育遠足「清水ドリームプラザ学べるうんこ展 BenZoo」	未就園児	9
10/9	幼稚園児外出「清水マリナート PIXAR ADVENTURE もしもから始まる、冒険の世界」	幼稚園児	7
10/13	昼間保育遠足「日本平動物園」	未就園児	9
11/10	昼間保育遠足「今宮公園」	未就園児	9
11/16	幼稚園児外出「第20回私立幼稚園子育てフェア in Shizuoka（駿府城公園）」	幼稚園児	8
12/27	餅つき	幼児～高校3年生	60
12/28~ 1/4	冬の在園児外出映画鑑賞 「シネシティザード」「静岡東宝会館」	幼児～高校3年生	35
12/30	冬の在園児外出「名古屋港水族館」	男子・女子グループ 小鹿寮	11
1/1~4	初詣「浅間神社」	在園児	30
1/2	在園児外出「掛川花鳥園」	小学生・幼児	15
1/19	冬の特別行事「スノータウンイエティ」	未就園児	7
2/3	冬の特別行事「ぐりんぱ」	幼稚園児	8
2/13	SPOPIA シラトリ静岡ジャンボ店「スキージャンプ葛西紀明の板展示」	全グループ	6
2/16	グループ親睦会「ガスト静岡安西店」食事会	未就園児	7
3/9	グループ親睦会「ガスト静岡安西店」食事会	幼稚園児	9
3/9	グループ親睦会「福一丸」食事会	女子グループ	17
3/9	グループ親睦会「シェイキーズ」食事会	小鹿寮	5
3/17	グループ親睦会「パパゲーノ」食事会	小学生グループ	16
3/17	すずらんの会との交流会	小学1年生～3年生	18
3/21	卒園の会	全グループ	70

月日	行事名	グループ名	参加児童数
3/23	園内ピアノ演奏発表会・手芸工作教室作品展		
年間	C S (週例) 夕拝 (月例) 誕生会 (年間)		

(2) 招待・訪園行事

(単位：人)

月日	行事名	グループ名	参加児童数
4/2	天文本店「龍井茶」(ロンジンチャ) 呈茶会	小学生	4
4/30	せいくらべの会「子どもの日記念特別コンサート」	幼児～小学生	42
5/13	静岡音楽会 A0I「打楽器ワークショップ」招待	小学4年生～6年生	17
6/3	静岡英和女学院「花の日訪園」19人		31
6/3	静岡音楽会 A0I「打楽器ワークショップ」招待	小学4年生～6年生	17
6/17	西ロータリークラブ「バルーンアート教室」	小学生	34
7/1	梅ヶ島新田温泉「黄金の湯」招待	中学・高校生	14
7/8	スイカ狩り招待	幼稚園児	5
7/15	静岡音楽会 A0I「打楽器ワークショップ」招待	小学4年生～6年生	17
7/29	静岡橘ライオンズクラブ「安倍川花火大会」招待	小学生他	16
8/3	日本キリスト教団静岡教会C S「楽しい夕べ」	幼児(年長)・小学生	28
6/1	しずおか信用金庫「第27回夏休み子ども映画会 みつばちマーヤの大冒険」招待	幼児(年長) 小学生	24
8/12	井宮町七夕夏まつり「子どもみこし」参加	全グループ	23
8/22	第46回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	小学生以上	4
8/25	天文本店夕食「天井」招待	全グループ	53
8/26	静岡翼ライオンズクラブ「国際交流夏祭り」	全グループ	62
9/2	ディズニーオンアイス招待	小学生(希望児)	12
9/18	静岡大学管弦楽団演奏会	小学生以上	43
10/1	静岡英和女学院「収穫感謝の日」訪園23人	幼児・小学生低学年	32
10/1	安西学区大運動会	小学生	25
10/3	中国料理協会夕食提供	全グループ	64
10/15	食肉組合内人会 夕食提供	全グループ	67
10/28	静岡市里親家庭支援センターみかん狩り招待	小学生	5
11/12	静岡ライオンズクラブ 「エバーグリーンガーデン記念植樹とバーベキュー」招待	小・中学生	33
11/19	日本キリスト教団静岡教会C S子ども祝福式	幼児・小学生	39
11/25	(株)協和医科器機 劇団かかし座影絵劇「宝島」観劇 招待	幼児・小学生	20
11/25	静岡県児童養護施設協議会オセロ大会	小学生以上	4
12/2	静岡英和女学院「クリスマス」訪園	幼児・小学校低学年	33
12/3	ピュール七五三写真撮影招待	七五三該当児	10

月日	行事名	グループ名	参加児童数
12/9	せいくらべの会「クリスマス特別コンサート」40人	幼児・小学生	45
12/17	C Sクリスマス祝会	幼児（年長）・小学生	32
12/18	競輪選手（小林・櫻井・水野）ランドセル寄附	幼児（年長）	2
12/29	静岡翼L C望月宅クリスマスイルミネーション見学	外泊在園児	23
1/28	井宮町内会餅つきと豆まき招待	幼児（年長）・小学生	25
1/14	第40回静岡県児童福祉施設夏冬季球技大会	小学生以上	31
2./25	静岡友の会「調理体験」招待	小学校4～6年生	11
年間	Jリーグ観戦（観戦チケット寄附）		144

### (3) 県養協行事

月日	行事名	結果
5/14	第35回静岡県児童福祉施設絵画展	銀賞2名、銅賞2名、佳作6名
8/22	第46回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	ベストチーム3位、小学生チーム3位
11/25	第5回静岡県児童福祉施設オセロ大会	U-12 予選敗退、U-18 2位リーグ進出
1/14	第40回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	小学生女子5位 中・高男子5位、小学生男子予選敗退

## 4 ボランティアの活動

（単位：人）

活動内容	協力者	人数	延人数
学習指導	常葉大学学習ボランティアグループ	34	594
	若林様（英和学院大学教授）	1	24
	大学生	9	100
環境整備	静岡翼ライオンズクラブ	40	40
	静岡英和女学院中学校・高等学校	23	42
	籠上中学校成人教育委員会	5	13
	御前崎市更生保護女性会	20	20
	静岡インテリア事業協同組合静岡支部	4	4
	（株）サンゲツ中部支社静岡営業所	7	14
	本多幸恵氏（餅つき）	1	1
	フィリップモリスジャパン	11	11
塚本様	1	55	
散髪	理美容奉仕グループ	4	38
	1/10' プロジェクト	6	48
計		166	1,004

## 5 心理的ケア

### (1) スーパービジョン

(単位：人)

月日	対象児童	テーマ・内容	精神科医	参加職員数
4/26	4人	昨年度のケースの振り返り	奥村 Dr	14
5/24	5人	昨年度のケースの振り返り	三田 Dr	10
6/28	中3 女児	特徴の医学的捉え、対応方法	奥村 Dr	17
7/19	年中 女児	本児の行動の特徴、家庭引き取りまでの段取りの確認	三田 Dr	15
9/13	中1 男児	特徴の医学的捉え、有効な関わり方	奥村 Dr	16
9/27	小4 男児	本児の発達の特徴、今後の就学指導について	三田 Dr	15
10/25	小6 女児	特徴の医学的捉え、有効な関わり方	奥村 Dr	14
12/20	小6 女児	本児の行動の特徴、対応方法	奥村 Dr	13
1/10	未就園 女児	本児の発達の特徴、今後の家族交流について	三田 Dr	17
2/28	小5 男児	特徴の医学的捉え、対応方法	奥村 Dr	14
3/14	小1 男児	措置までの経緯の整理、今後の家族交流やケースの動きについて	三田 Dr	10

\* 子どもや家族への支援向上を目指す現場重視の事例検討

### (2) グループ心理療法

対象児童	実施時期	実施回数	目的・内容
7人 (年長・小1)	6～7月 9～2月	1回/月	大人と1対1で関われる時間を持ち、愛着形成や自己肯定感の向上を図る。 安心感の下で適切に人と関わりを持てるようにする。

### (3) プレイセラピー

対象児童	実施回数	実施時間	目的・内容
2人	3回/月	1時間/人	遊びをとおして関わることで、子どもの不安全感や怒り、劣等感、寂しさ等の感情を緩和・軽減させる。 毎回1時間、施設心理士との勉強会の時間を設け、その中でケースについても話をし、児相担当 Th を含む3者で密な連携を図っていく。

### (4) その他心理療法等 (単位：回)

心理療法	生活場面面接
192	341



## 6 自立支援の状況

(単位：件、人)

対象児童	支援項目	件数	支援内容
入所児童	ソーシャルスキルアップ	253	掃除洗濯等生活指導（通年指導） 調理体験
	自立支援教育	43	・自立に向けた保険講座（高3） ・賃貸物件契約に関する講座（高3） ・ライフプランセミナー（人生設計講座）（高3） ・こどもクリエイティブタウンまる「お仕事体験」（小6） ・お仕事フェスタ（小6）
退所児童	電話・メール	108	近況確認
	来園面接	18	相談援助
	訪問面接	49	（体調不良、職場での人間関係、離職、引越し、奨学金、アパート、パスポート取得等各種手続き等）
	職場訪問	4	
	その他	24	生活支援 （引越し手伝い、通院同行、各種手続き指導、手伝い等） 就労支援 （関係機関との連絡調整、就労継続のための訪問面接、離職手続き等）
計	499		

## 7 児童の健康管理

### (1) 月別受診状況

(単位：人)

年月	外科 整形外科	内科 小児科	眼科	歯科	皮膚科	耳鼻科	神経科 その他	計
29/4	3	17	3	1	3	39	5	71
5	1	23	3	3	1	11	5	47
6	9	26	1	6	3	13	6	64
7	2	24	3	3	2	14	2	50
8	2	20	4	2	7	5	2	42
9	1	18	3	13	7	10	3	55
10	3	31	3	6	6	10	5	64
11	6	18	3	0	4	5	7	43
12	6	20	0	0	2	6	6	40
30/1	1	48	0	1	7	3	4	64
2	3	42	0	1	1	8	5	60
3	1	20	2	3	3	9	8	46
計	38	307	25	39	46	133	58	646

## (2) 健康診断・予防接種

(単位：人)

区分	月日	対象児童	人数	備考	
健康診断	8/25	幼児～高校3年生	64		
	3/27	幼児～高校2年生	66		
歯科検診	9/11	未就園児	3		
	9/19	未就園児	3		
	9/29	未就園児	4		
	3/13	未就園児	3		
	3/14	未就園児	4		
予防接種	4種混合	10/24	小1	1	3回目
		12/8	小1	1	第1期追加
	MR (麻疹・風疹)	9/26	幼稚園児	1	第2期
		10/24	小1	1	第2期
		12/13	幼稚園児	1	第2期
	日本脳炎	6/27	未就園児	1	1回目
		7/28	幼稚園児	1	1回目
		9/26	未就園児	1	1回目
		10/24	小1	1	1回目
		6/13	未就園児	1	2回目
		7/28	未就園児	1	2回目
		8/31	幼稚園児	1	2回目
		11/17	未就園児	1	2回目
		12/8	小1	1	2回目
		10/24	小1	1	追加
		4/13	幼稚園児	2	追加
		6/15	未就園児	1	追加
		7/28	幼稚園児	1	追加
		9/26	幼稚園児	1	追加
		11/7	幼稚園児	2	追加
	11/17	幼稚園児	1	追加	
	インフルエンザ	1/10	中3 高3	4	高校・大学進学受験生

## 8 家族（保護者）支援等の状況

### (1) 家族（保護者）との交流状況

（平成30年3月1日在籍児童：人）

交流あり				交流なし	計
帰宅	外出	面会	電話・手紙		
27	13	4	1	25	70

### (2) 家族（保護者）との交流頻度

（単位：人）

区分	月1回以上	年2回～11回	年1回位	計
帰宅	17	10	0	27
外出	4	9	0	13
面会	0	4	0	4
電話・手紙	0	1	0	1

### (3) 一時帰省状況

（単位：人）

区分	期間	児童数	備考
夏季	8/13～8/20	24	夏季・冬季ともに個別のケース対応により期間長短あり
冬季	12/28～1/4	34	

### (4) ショート・ルフラン里親

（単位：人、日）

区分	29/4	5	6	7	8	9	10	11	12	30/1	2	3
児童数	2	3	2	2	4	1	3	2	3	3	1	2
延日数	9	12	11	8	15	6	11	9	6	10	7	7

### (5) レスパイトケア受入児童数

（単位：人）

区分	29/4	5	6	7	8	9	10	11	12	30/1	2	3	計
児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*実人員は0人

## 9 子どもの意向・苦情（こどもの声への投書）

（単位：件）

要望	改善提案	苦情	感謝	その他	計
11	0	1	0	2	14

## 10 防災・安全対策実施状況

### (1) 教育

(単位：人)

月日	教育内容	参加児童数	参加職員数
5/1	消防設備取扱説明	0	21
5/20	DVD「東日本大震災 激震と大津波」	29	7
7/15	「土砂災害マップ」による状況説明	31	15
11/18	県防災センター「Bコース」学習と体験	24	4+実習生1

### (2) 防火・防災訓練

(単位：人)

月日	訓練名称	想定災害	実施 時間帯	訓練内容						参加人員	
				通報	初期 消火	消火 訓練	避難	その他	児童	職員	
4/15	避難訓練	火災	日中		○	○	○	消火器取扱説明	36	14+里親2	
5/20	避難訓練	地震・火 災	日中		○	○	○	DVDでの学習	31	10+実習生1	
6/17	避難訓練	火災	日中	○	○	○	○	消防署通知	42	14	
7/15	避難訓練	土砂災害	日中				○	土砂災害マップ説明	31	15	
8/23	避難訓練	地震・火災	夜間				○	発電機使用訓練	52	12	
9/1	情報伝達訓練	地震	日中							16+実習生1	
9/16	避難訓練	地震前	日中							12+実習生2	
10/14	避難訓練	火災	日中		○	○	○		53	14	
11/6	社会福祉施設 防災の日訓練	地震・火災	日中	○	○	○	○	消防署への通報 保育学園と連携	10	19+実習生2	
12/3	避難訓練	地震	日中				○	井宮町防災訓練	26	10	
1/27	避難訓練	地震	夜間				○		41	11	
2/17	避難訓練	地震	日中				○		51	12	
3/17	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		56	15	

### (3) 点検・検査

項目	月日
消防用設備点検	5/1 1/8
建築設備定期検査（建築物・建築設備）	11/24
建築設備定期検査（防火設備）	12/1
電気設備点検	3/5
貯水槽点検・清掃	7/12
空調設備点検	5/29 10/26
消防署立入検査（小鹿寮）	1/25

## 11 関係機関等との連携

### (1) 児童相談所との連携

連絡会			その他
月日	児童相談所	内容	
6/9 6/20 2/6 2/8	静岡市児童相談所	措置児童の情報交換 進路、家庭引き取り、里親委託、措置変更など	個別ケースの連絡・面接・ケース検討会等の実施
6/27	浜松市児童相談所		
6/30	静岡県(中央・富士)児童相談所		
2/26			

### (2) 幼稚園・学校との連携

幼稚園・学校名	月日	内容
かえで幼稚園	随時	新入園児のホームでの生活の様子等
安西小学校	4/5 毎月1回	新任職員来園・概要説明、 児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
末広中学校	4/6 随時	新任職員来園・概要説明、 児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
西豊田小学校	随時	ケース検討会
各高校	随時	学期ごとの面接。進路面接など

## 12 地域との交流

(単位：人)

月日	内容	参加児童数	参加職員数
5/8 5/22 10/23 3/2	井宮町防災委員会	0	1
8/12	井宮町七夕夏まつり	27	6
9/24	小鹿寮 学区の運動会	3	1
10/1	安西学区運動会	25	7
2/19	井宮町内会との懇談会	0	9
2/27	井宮町「すずらんの会」との交流	18	4

## 13 施設開放

月日	団体	内容	場所
10/1	NPO法人ふじのくにハーモニー	子守唄指導員養成講座	楓ホール
10/11 11/8 1/10	子ども虐待防止センター	打ち合わせ会	学習棟
12/3	井宮町町内会	地域防災訓練	運動場

## 14 職員研修実施状況

### (1) 職場内研修

#### ア 全職員

月日	研修内容	講師
5/31	こども病院巡回相談	県立こども病院医師
6/13	公文学習園内研修Ⅰ	日本公文教育研究会
6/14	公文学習園内研修Ⅱ	日本公文教育研究会
7/18	交通安全教室	日新火災海上保険(株) 海野保険サービス
9/6	メンタルヘルス研修	一般社団法人日本産業カウンセラー協会
10/30	防犯講習会	静岡中央警察署生活安全課
11/14	愛着とトラウマ	吉原林間学園

#### イ 新任職員

月日	研修内容	講師
4/28	公文学習新任職員研修	日本公文教育研究会
5/10	園内新任職員研修Ⅰ	施設長
5/16	園内新任職員研修Ⅱ	施設長補佐兼指導係長
5/19	性教育新任職員研修	中央児童相談所保健師、市児童相談所保健師 当施設職員
9/12	CARE プログラム研修Ⅰ	当施設職員
9/20	CARE プログラム研修Ⅱ	当施設職員
9/29	CARE プログラム研修Ⅲ	当施設職員
10/17	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅰ	当施設職員
11/17	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅱ	当施設職員

### (2) 職場外研修

#### ア 県社協等研修

(単位：人)

月日	研修会名	会場	参加職員数
5/8	児童福祉施設心理職グループスーパービジョン	静岡市	2
6/6	関ブロ・県養協合同研修会	伊豆の国市	1
6/10	静岡県里親連合会・総会・研修会	静岡市	1
6/14	経営協経営セミナー	静岡市	1
6/28	経営協中部地区総会	静岡市	1
6/29	公文教育研究会 地区勉強会	東京都	1
7/4	第53回関東ブロック児童養護施設研究協議会	千葉県	1
7/11	児童福祉施設等における暴力防止研修会	静岡市	8
7/18	県社協経理応用講座	静岡市	2
7/20	安全運転管理者講習	静岡市	1

月日	研修会名	会場	参加職員数
7/21	経理応用講座	静岡市	2
7/24	児童福祉施設心理職グループスーパービジョン	静岡市	1
7/31	社会福祉施設人事・労務管理研修会	静岡市	1
8/30	経営戦略セミナー	静岡市	1
9/4	児童福祉施設心理職グループスーパービジョン	静岡市	2
9/8	SBI ブロック別研修	東京都	1
9/15	予算管理講座	静岡市	1
9/22	子どものケア研修	静岡市	2
10/5	栄養講習会	静岡市	1
11/1	県社協運営管理研修	静岡市	1
11/15	社会福祉施設等防災研修会	静岡市	1
11/21	児童相談所 性教育講座	藤枝市	1
11/28～29	関ブロ児童養護施設事務職員研修会	大宮市	1
11/30	小児アレルギー教室	静岡市	1
12/1	衛生講習会	静岡市	1
12/1	児童福祉施設等における暴力防止研修会	静岡市	5
12/8	県児相 児童心理司等研修会	静岡市	2
12/13～14	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	東京都	1
12/20	経営戦略セミナー	静岡市	1
1/18～20	スーパービジョン研修会	神奈川県	1
1/20～22	SBI 研修会	東京都	1
1/23、 2/13～14	県社協キャリアパス対応生涯過程チームリーダーコース	静岡市	2
1/24、 2/20～21	県社協初任者研修会	静岡市	2
1/26～28	小規模ケア運営状況調査体験研修	石川県	1
1/29	公文式児童養護施設フォーラム	東京都	3
1/30～31	ファミリーソーシャルワーカー研修会	東京都	1
1/31～2/2	小規模ケア運営状況調査体験研修	神奈川県	1
1/31	県社協企業と地域の新しい連携・協働のカタチを考えるセミナー	静岡市	1
2/3	静岡子どもの福祉に関する勉強会	静岡市	1
2/15	県社協決算実務講座	静岡市	1
2/15	県社協子どもの居場所づくり交流会	静岡市	1
2/22	春風寮 施設内研修会	焼津市	2
2/27～28	関ブロ児童養護施設職員研修会	千葉県	2
3./2～3	全養協中堅職員研修会	東京都	1

月日	研修会名	会場	参加職員数
3/6	災害福祉支援セミナー/福祉施設の災害対策講座	静岡市	1

#### イ 県養協研修

(単位：人)

月日	研修内容	会場	参加職員数
5/16	指保部会	富士市	1
6/13	県養協新任職員研修会	静岡市	4
7/5	指保部会	静岡市	16
8/17	里親支援専門相談員部会	静岡市	1
9/7	心理職員部会	静岡市	2
9/14	里親支援専門相談員部会	富士市	1
9/15	指保部会	袋井市	5
9/21	権利擁護推進研修会Ⅰ	静岡市	5
10/2	施設長・事務職員部会合同研修会	静岡市	2
10/12	権利擁護推進研修会Ⅱ	静岡市	4
11/20	家庭支援専門相談員部会	静岡市	1
12/4	里親支援専門相談員部会	静岡市	1
12/7	心理職員部会	静岡市	2
12/21	権利擁護推進研修会Ⅲ	静岡市	5
1/25	県養協・福祉研合同研修会	静岡市	2
2/6	事務職員部会	静岡市	2
2/13	指保部会	三島市	1
3/8	県養協・部会長合同研修会	静岡市	2

#### ウ 県外施設体験研修

月日	研修内容	施設名	参加職員数
1/26~28	小規模ケア運営状況調査体験研修	心泉学園	1
1/31~2/1		聖霊愛児園	1



## 15 実習生の受入れ

(単位：日、人)

区分	期間	日数	人数	実習校
保育実習 I	5/15～5/25	10	3	東海こども福祉専門学校
	5/15～5/27	11	1	聖隷クリストファー大学
	6/5～6/18	12	1	静岡県立大学短期大学部
	6/26～7/6	10	2	常葉大学浜松キャンパス
	7/10～7/20	10	2	常葉大学浜松キャンパス
	8/21～8/31	10	1	常葉大学富士キャンパス
	8/21～9/3	11	1	浜松学院大学
	9/4～9/16	11	2	常葉大学短期大学部
	9/4～9/17	12	1	静岡福祉大学
	9/18～9/30	11	2	常葉大学短期大学部
	10/2～10/13	10	2	静岡福祉医療専門学校
	10/16～10/28	11	2	常葉大学短期大学部
	10/23～11/4	11	1	常葉大学短期大学部
	11/6～11/18	11	2	鎌倉女子大学短期大学部
	11/6～11/18	11	2	東海大学短期大学部
	11/18～12/2	11	2	東海大学短期大学部
	12/4～12/14	10	2	静岡産業大学
12/4～12/16	11	1	洗足こども短期大学	
2/26～3/11	12	2	静岡英和学院大学	
保育実習Ⅲ	10/2～10/15	12	1	静岡県立大学短期大学部
ソーシャル ワーク実習	5/11～5/31	16	1	東京福祉大学
	8/8～9/9	24	1	静岡英和学院大学
	12/4～12/21	15	1	静岡福祉医療専門学校
	2/19～2/24	6	1	静岡県立大学短期大学部
計		279	37	

## 16 里親支援の状況

### (1) 里親認定前・更新研修 (単位：人)

講義	実習	計
12	13	25

### (2) 相談支援 (単位：件)

訪問	来園・面接	電話・メール	計
14	2	18	34

**(3) 子育て経験のない里親のための養育体験事業**

(単位：人)

年/月	29/4	5	6	7	8	9	10	11	30/1	2	3	計
参加者数	2	3	3	3	1	1	1	3	2	2	1	22

**(4) 里親会との連携**

月日	内容	参加児童数	参加職員数
6/10	静岡県里親連合会研修会	-	1
6/22	里親との懇談会	-	4
10/28	里親月間行事「一日里親体験会ふれあいみかん狩り」	5	2

**17 視察研修の受入れ**

(単位：人)

月日	団体名	人数
5/16	神奈川県紀北町民生委員児童委員協議会	25
5/30	静岡県健康福祉部新規採用職員	30
6/15	神奈川県川崎市麻生区柿生第二地区民生委員児童委員協議会	21
8/3	東京都豊島区子ども家庭部	7
8/29	常葉大学教育学部心理教育学科学生	10
9/7	三島市民生委員児童委員協議会	29
10/2	神奈川県箱根町民生委員児童委員協議会	19
10/6	静岡市駿河区民生委員児童委員協議会	70
11/15	神奈川県山北町ボランティア連絡協議会	20
12/1	御前崎地区更生保護女性会	20
2/7	静岡市安西地区担当民生委員児童委員	2